

## お おはなし・ドン冬のおはなし会開催 はなしの世界にワクワクドキドキ

12月8日に南部町公民館さいはく分館で、おはなし・ドン冬のおはなし会“ふしぎなかばんがやってきた”が開催されました。

くつした人形たちの“ドレミのうた”が始まると子どもたちは舞台にくぎづけ。その後“ハンドベル”のクリスマスソングや大型絵本など楽しいメニューが続きました。今回はゲストにシンガーソングライターの森田さやかさんを招き、一緒にわらべうたを歌うお楽しみの時間もありました。人形劇「ふしぎなかばん」では、かわいい動物たちとふしぎなかばんのおはなしに、会場はすっかり引き込まれていました。



会場はたくさんの親子で盛り上がり  
ました



2、3年後には一般市場に販売される予定  
(試乗会の様子)

## 工 岩谷産業(株)主催サイエンス教室開催 エネルギーの大切さを学ぶ

西伯小学校で12月10日、3年生を対象に科学実験教室と、日本で数台しかない水素自動車の試乗会が行われ、新エネルギーの素晴らしさと環境の大切さを学びました。「水素は二酸化炭素を出さない新エネルギーとして注目されています。この車は排気ガスの代わりに水が出るんですよ」などの説明に児童からは驚きの声が上がりました。

# こちら地域振興協議会

東西町

## 元気をつくるコミセンの大掃除

歳末の恒例行事となったコミュニティセンター大掃除と利用団体会議は、平成10年の公民館時代から行っています。昨年も、雪の舞う12月9日の朝9時前から、団体の代表の皆さんが、掃除用具を持って集まって来られました。女性は、トイレや下駄箱、調理室等、男性は窓や蛍光灯、換気扇、エアコン等の掃除をしていただき、約1時間程でどこもすっかりきれいになりました。

掃除終了後の全体会議では、利用者から備品等の要望がありました。また、事務局からは使用後の清掃や主要目的外の調理等の禁止等々についての説明をしました。施設を大いに活用し、健康になっていただき、その元気を町づくりにつなげていただくことも目的の一つでもあります。



▲大集会室の窓掃除



▼参加者全員で行われた  
利用団体会議

富有の里

## 「えぷろん」にイルミネーション設置

富有の里では、12月9日「えぷろん」のシンボル樹木(南京ハゼ)をメインに、イルミネーションを取り付けました。当日は寒風の中にもかかわらず、小学校児童など20数名が参加し、高さ約10メートルのツリーを、地域住民と一緒に飾り付けを行いました。幻想的な光のコラボレーションは、地域住民に心の安らぎと憩いの場として期待され、今年1月14日(成人の日)まで、毎日午後4時から9時まで点灯する予定です。

この事業は、地域の子どもと地域住民との交流促進、子ども達の地域の愛着と思い出づくりのために企画し、赤い羽根共同募金から助成を受けて実施したものです。皆さんも一度、鑑賞にお出かけください。



飾り付け作業の様子